

一般社団法人 日本専門医機構
第 24 回 理 事 会 議 事 録

1. 開催日時 平成 30 年 2 月 9 日 (金) 16 時 00 分～17 時 05 分
1. 開催場所 東京国際フォーラム ガラス棟 G602
1. 現在理事数 25 名
出席理事数 15 名
理 事 長 吉村 博邦
副理事長 松原 謙二 山下 英俊
理 事 市川 智彦 遠藤 久夫 神庭 重信 北川 昌伸 木村 壯介
寺野 彰 豊田 郁子 南学 正臣 羽鳥 裕 花井 十伍
本田 浩 渡辺 毅
1. 現在監事数 3 名
出席監事数 2 名
寺本 民生 山口 徹
1. 陪席者数 5 名
星 紀幸 (厚生労働省)
植田 勝明 (兵庫県庁)
天瀬 文彦 新井 朋博 (日本医師会)
前田 雅晴 (全国自治体病院協議会)
1. 事 務 局 事務局長代行 栄田 浩二 他
欠席理事数 10 名
理 事 井戸 敏三 稲垣 暢也 岩本 幸英 神野 正博 桐野 高明
國土 典宏 小林誠一郎 邊見 公雄 森 隆夫 柳田 素子
欠席監事数 1 名
監 事 今村 聡



議事次第

I. 協議事項

1. 専門研修登録二次審査状況について
2. 今後のスケジュールについて
3. 専門研修プログラム研修施設評価・認定部門 審議事項
 - (1) 専門研修プログラム整備基準の変更について (産婦人科)
 - (2) 専門研修プログラム変更届について
 - (3) カリキュラム制について
4. 総合診療専門医について
5. 外務省からの「専門医資格更新の要望書」について
6. その他

II. 報告事項

1. その他

III. その他

16時00分、定刻に至り、理事長より挨拶の後、出席理事数及び委任状の確認があり本理事会の成立を宣言し議事を開始した。

I. 協議事項

1. 専門研修登録二次審査状況について

基本18領域の過去5年間の採用実績数等に基づく平均値および一次登録採用者数と二次応募者数の結果、各科の平均値データの算出方法等が資料として提出された。過去5年間の採用実績平均値数は各科によって算出方法が異なり比較は困難であったが、再度データの提出を依頼し数値の精度を高めたことにより、シーリング対象の5都府県において上限をほぼ超えなかったことが報告された。

理事長の代理として厚生労働省の検討会に出席した松原副理事長より、マスコミ報道のある内科の減少や東京都に専攻医が集中していることについて委員に説明し、概ね理解を得たことが報告された。しかし、5年の平均値の根拠とローテートする根拠の提示を求められたため、東京都の専門研修プログラムに対し、各学会の了承を得たうえで、3月中旬を目途に研修期間中の施設ローテート予定のアンケートを行いたいとの提案が出され、了承された。

また、情報公開の要求があることから、過去5年の平均値および専攻医登録状況の資料を、ゾーン別と5都府県別で公表することが提案され、了承された。

2. 今後のスケジュールについて

事務局より、2月16日からの二次審査スケジュール案が示され、前回理事会にて了承されたとおり、シーリング対象となる5都府県においては応募をおこなわないとすることが改めて確認され、承認された。

また、本田理事より、今年度の募集採用状況を参考に平成30年度の専攻医募集スケジュール案が示され、プログラム新規・変更の受付を平成30年4月末までとし、5月末まで各領域での一次審査。その後、都道府県協議会との協議および二次審査期間を3ヶ月程度設け、9月1日より専攻医募集を開始することが理事会で承認され、公表することとした。

3. 専門研修プログラム研修施設評価・認定部門 審議事項

(1) 専門研修プログラム整備基準の変更について（産婦人科）

本田理事より、産婦人科より提出された整備指針の修正について委員会で審査を行い、軽微な変更であるとして承認したことが報告され、理事会で承認された。

(2) 専門研修プログラム変更届について

基幹施設より基本領域学会に変更届が提出され、学会に了承されたプログラムの一部変更依頼について委員会で審査を行い、適切な理由であるとして承認したことが報告され、理事会で承認された。

(3) カリキュラム制について

日本臨床検査医学会と整形外科領域研修委員会委員より、カリキュラム制研修に関する要望書が

提出されたことが報告された。委員会で協議を行った結果、臨床検査領域において内科認定医を有する医師がカリキュラム制研修を行うことについては、整備指針に則り領域の判断にゆだねることとし、整形外科領域における防衛大学校のカリキュラム制研修については、防衛大学校に作成していただいたプログラム内容に問題がないことが確認できたので、両件について委員会で承認したことが報告され、理事会で承認された。

4. 総合診療専門医について

松原副理事長より、総合診療の特任指導医講習会の1回目を開催したことが報告され、3月にはプログラム統括責任者講習会を開催予定であることが報告された。また、今までアドホック委員会として開催していた総合診療専門医に関する委員会と総合診療専門医ワーキンググループを廃止し、少人数制の運営委員会を設立すること、およびその人事については理事長に一任することの提案があり、承認された。

理事より、特任指導医講習会の内容を資料として提示してほしいとの要望があり、検討する旨の回答がなされた。

5. 外務省からの「専門医資格更新の要望書」について

山下副理事長および松原副理事長より、外務省から在外公館医務官の活動を専門医更新の診療実績として認めてほしいとの要望書が提出されたことが報告された。機構としては認める方向性であることを各学会に通知し、最終判断は各学会に委ねることが承認された。

6. その他

松原副理事長より、2月2日に来年度予算に関する財務委員会を開催したことが報告された。来年度は収入が多く見込めないことから、日本医師会からの短期借入金3,000万円の返済延期を申し入れたいとの提案があり、了承された。

II. 報告事項

1. その他

神野理事からの意見書が資料として提出され、読み上げられた。

松原副理事長より、サブスペシャリティ専門医との関連で機構認定専門医への移行が難航している学会があることが報告され、機構から機構専門医への移行を前向きに検討いただくよう申し入れる予定であることが報告された。

理事より、中長期の財務見通しと事務局機能の強化について、十分に検討するよう意見が出された。


今後の会議予定

・第25回理事会


平成30年3月16日(金)16時～18時

以上をもって、本日予定された議事が終了し、この議事内容を明確にするため議事録署名人として監事が指名され、17時05分に散会した。

平成30年2月9日

理事長 吉村博邦 
吉村 博邦

監事 寺本民生 
寺本 民生

監事 山口徹 
山口 徹